

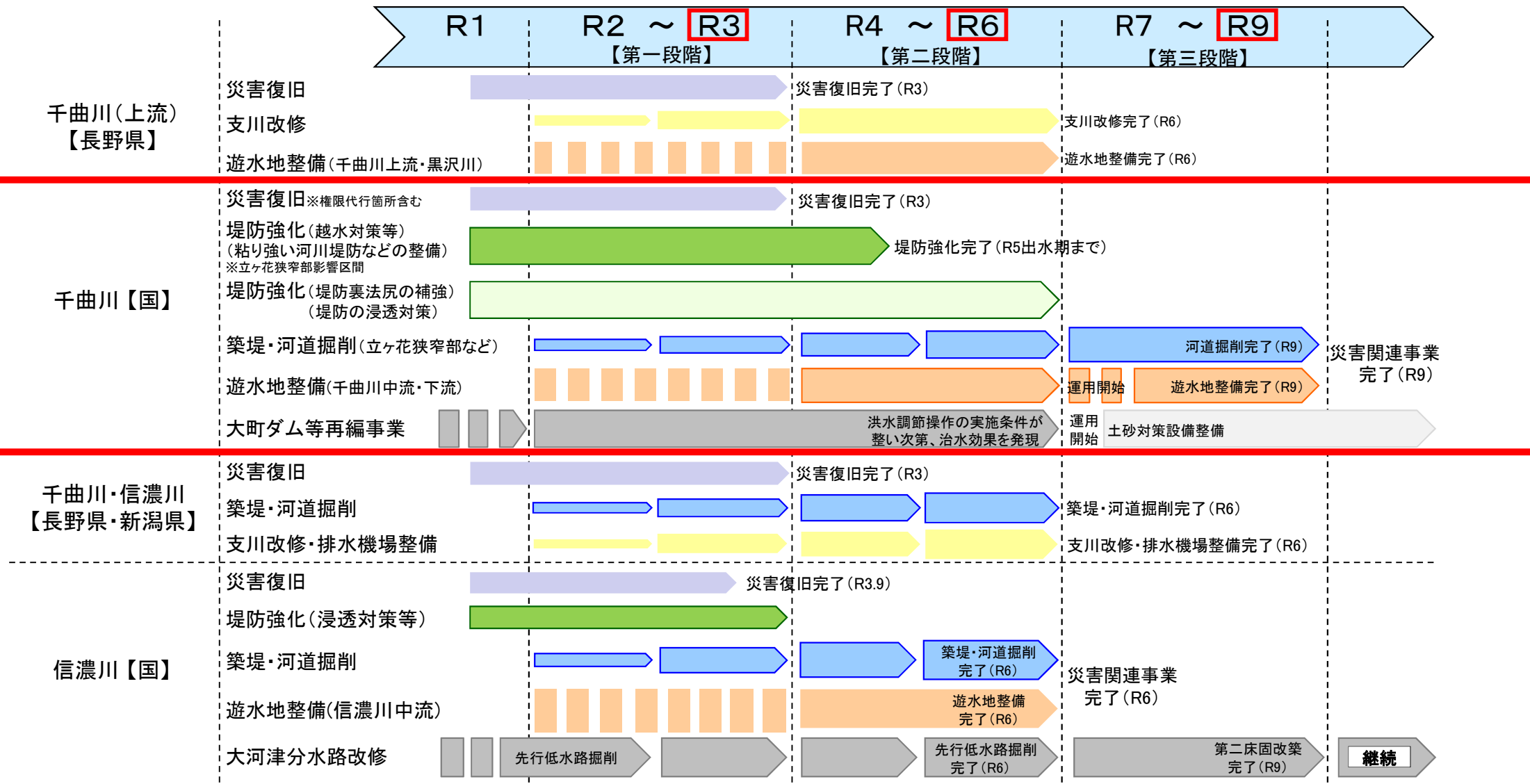
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト  
【平和橋遊水地について】

国土交通省 千曲川河川事務所

# 1. プロジェクトの概要

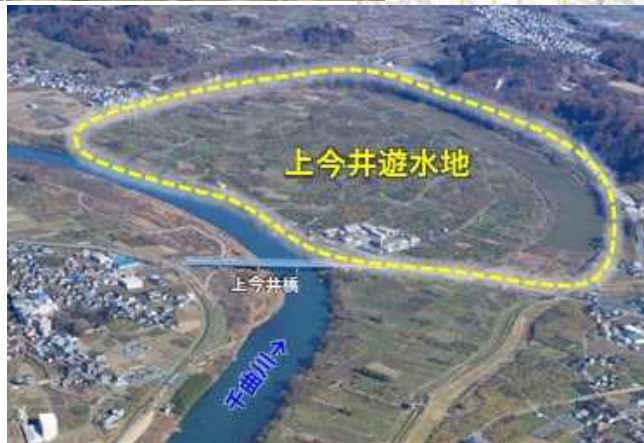


- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了



# 遊水地計画地 位置図

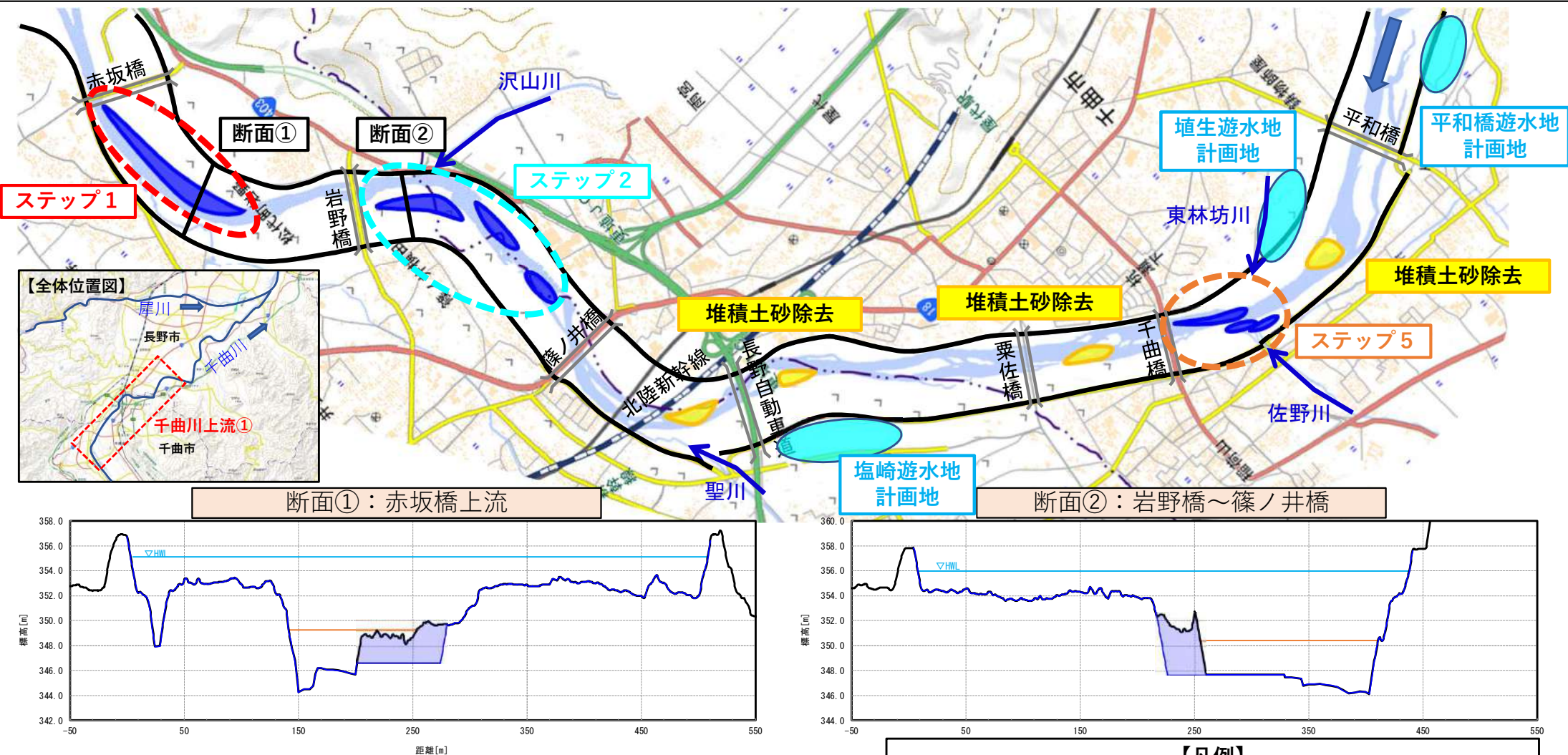
- 令和元年東日本台風に対する治水対策として、直轄管理区間において、5箇所の遊水地整備を予定。
- 令和6年度（若しくは令和9年度）までの遊水地事業完成を目指す。



※遊水地は現在計画検討中であり、範囲等は確定したものではありません。

# 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにおける河道掘削箇所について(千曲川上流①)

- 信濃川流域全体での上下流バランスや氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、令和2年度から千曲川本川の水位低下を目指して河道掘削を段階的に進め、遊水地整備と合わせて令和元年東日本台風規模の洪水を計画堤防高以下で流下させる。(R9年度末まで)
- 河道掘削を行うことで洪水時に流れる断面を大きくするだけでなく、掘削区域の冠水頻度が上がることで樹林化も抑止することができる。



## <緊急治水対策プロジェクト目標>

**【R9年度末まで】**

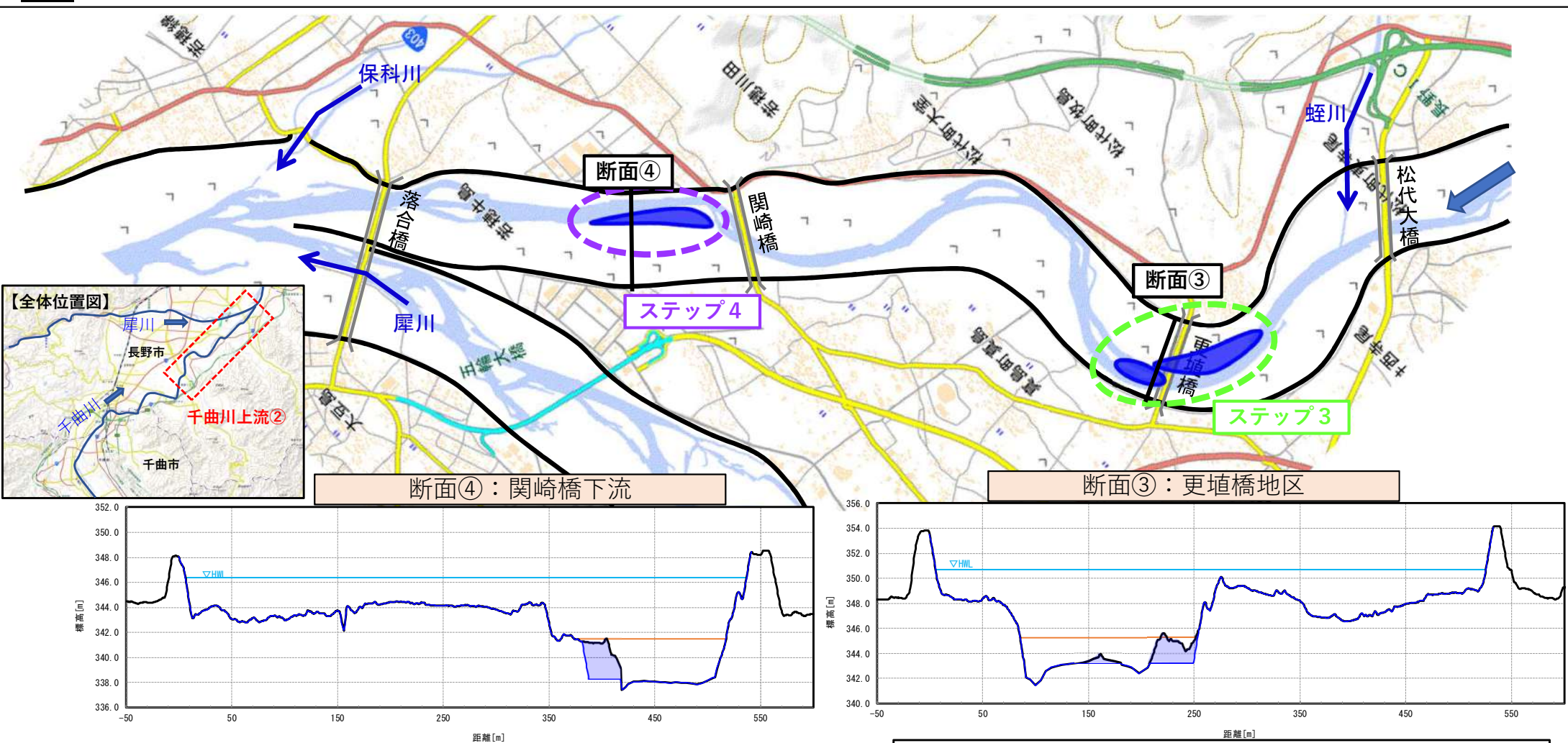
令和元年東日本台風における、千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

- 【凡例】**
- 河道掘削施工ステップ
  - 掘削範囲
  - 堆積土砂除去
  - 現況河道
  - プロジェクト河道
  - 概ね1年に1回冠水する高さ

※河道掘削については上下流バランスを踏まえ、段階的に掘削を行う予定  
 なお、詳細な河道掘削範囲は今後、測量結果等を踏まえて決定する

# 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにおける河道掘削箇所について(千曲川上流②)

- 信濃川流域全体での上下流バランスや氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、令和2年度から千曲川本川の水位低下を目指して河道掘削を段階的に進め、遊水地整備と合わせて令和元年東日本台風規模の洪水を計画堤防高以下で流下させる。(R9年度末まで)
- 河道掘削を行うことで洪水時に流れる断面を大きくするだけでなく、掘削区域の冠水頻度が上がることで樹林化も抑止することができる。



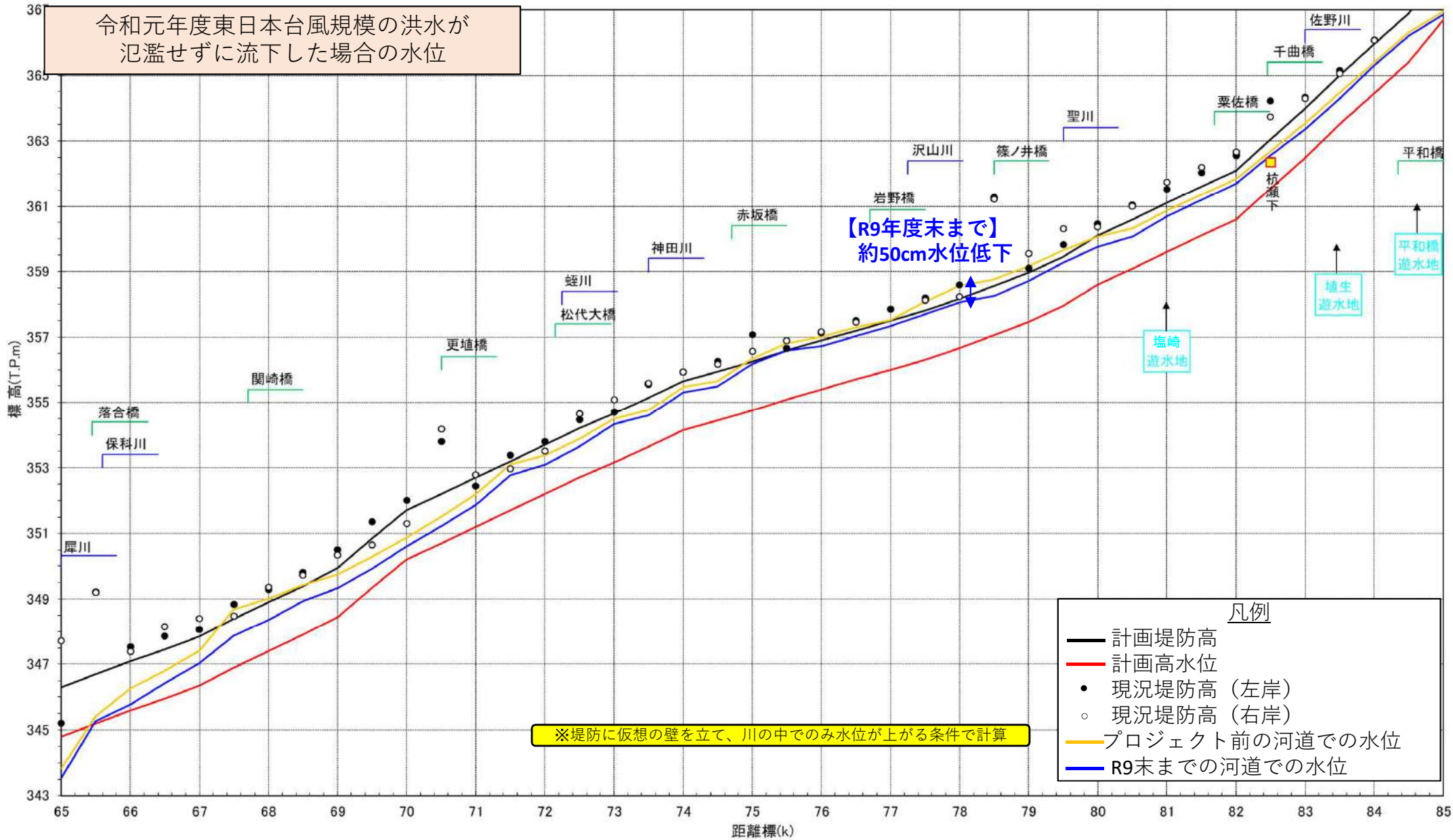
**<緊急治水対策プロジェクト目標>**  
**【R9年度末まで】**  
 令和元年東日本台風における、千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止。

- 【凡例】**
- 河道掘削施工ステップ
  - 掘削範囲
  - 堆積土砂除去
  - 現況河道
  - プロジェクト河道
  - 概ね1年に1回冠水する高さ

※河道掘削については上下流バランスを踏まえ、段階的に掘削を行う予定  
 なお、詳細な河道掘削範囲は今後、測量結果等を踏まえて決定する

# 河道掘削等の水位低下効果について(千曲川上流)

- 令和2年度からの各年の河道掘削により、段階的に水位の低下を図る。
- 令和9年度までに河道掘削・遊水地の整備により、犀川合流点上流の水位を計画堤防高以下に収め、千曲川本川からの越水を防止する。





## 2. アンケート結果

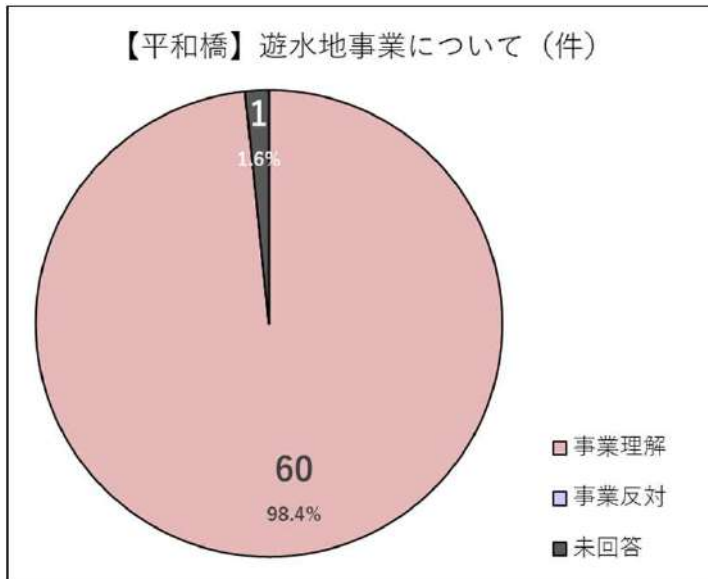
# 平和橋遊水地 アンケート結果について

- ・千曲市にて、遊水地計画地に土地をお持ちの方を対象に「用地買収方式」を前提とし、アンケート調査を実施。
- ・アンケート集計結果は以下のとおり。

## ① 遊水地事業について

	件数	
事業理解	60	98.4%
事業反対	0	0.0%
未回答	1	1.6%
計	61	

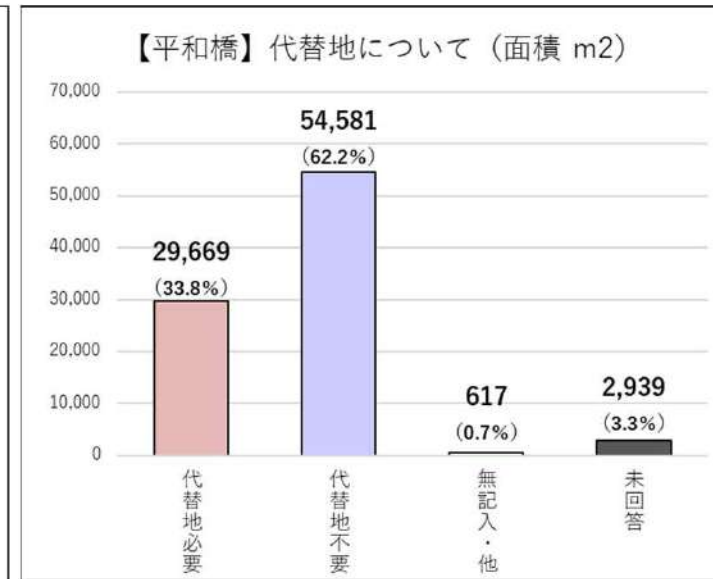
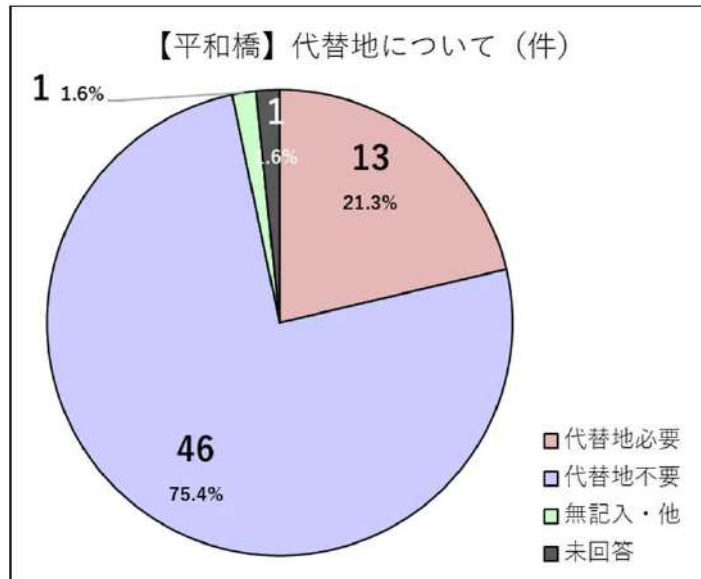
※アンケートのコメント等から判断



## ② 用地買収となった場合、代替地は必要か？

	件数		面積	
代替地必要	13	21.3%	29,669	33.8%
代替地不要	46	75.4%	54,581	62.2%
無記入・他	1	1.6%	617	0.7%
未回答	1	1.6%	2,939	3.3%
計	61		87,806	

※面積は、対象者所有の土地を合算したもの



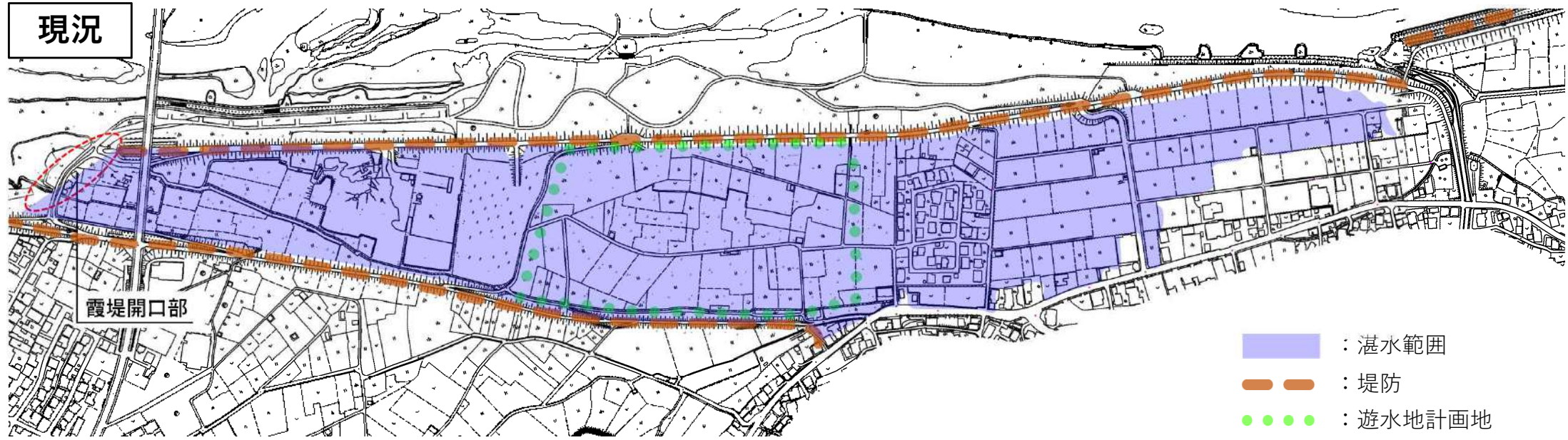
## 今後の方針

- ・「用地買収方式」に切り替えることについて、反対意見が少なかったことから、「用地買収方式」で事業を進めることを提案する。
- ・代替地を確保するため、千曲市に協力いただき、現在の土地利用状況や必要する代替地面積など、各々の事情を確認しながら具体的に調整を進めて参りたい。

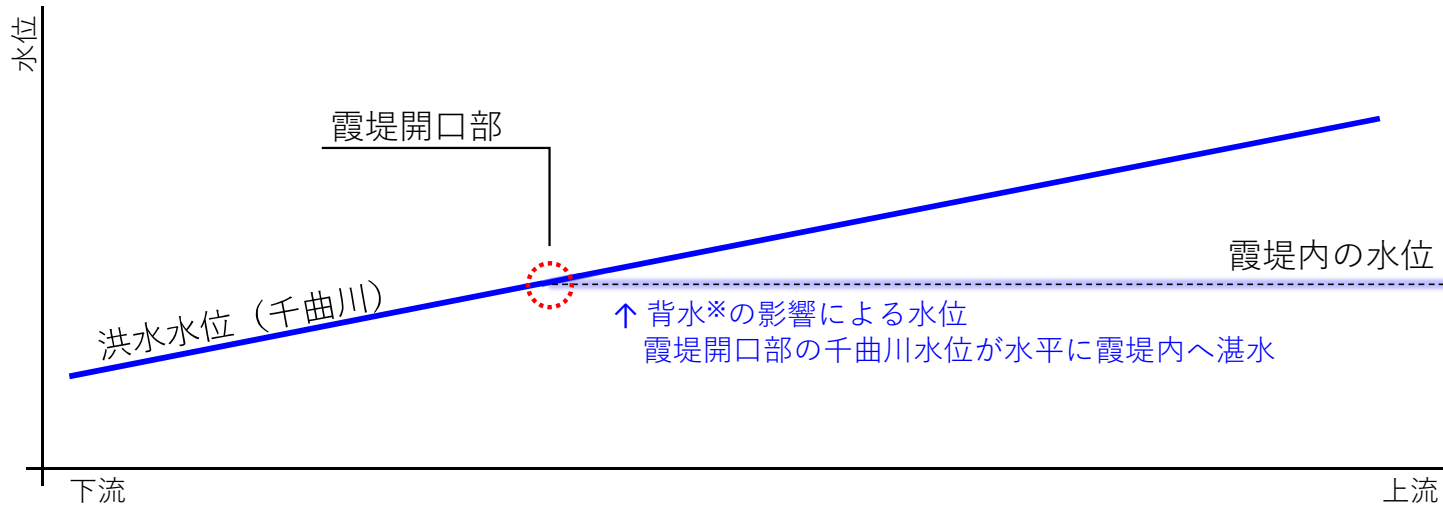
### 3. 住宅地への浸水対策について

# 平和橋遊水地 住宅地への浸水対策（現在の状況）

- ・現状では、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合、千曲川からの背水の影響が上流住宅地まで及ぶ。  
（霞堤開口部の千曲川の水位が水平に霞堤内へ湛水する。）



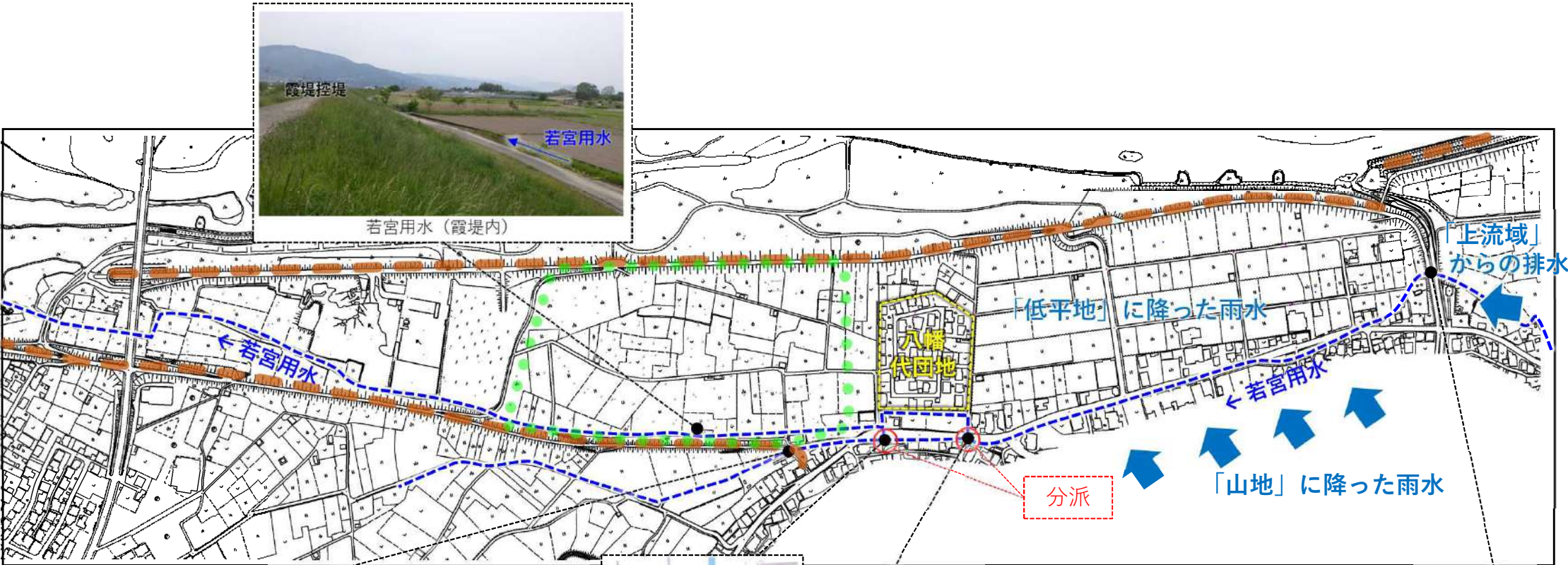
## 水位縦断面図（イメージ）



※背水とは  
下流の水位変化の影響が上流まで及ぶこと。

# 平和橋遊水地 住宅地への浸水対策(若宮用水 水路配置図)

- 若宮用水は、千曲川本川 L89.0kp付近(若宮揚水樋門)より揚水し、遊水地計画地である霞堤内を含む千曲市域への用水路として整備されている。
- 洪水時には内水の排水路としても利用されており、当地に降った雨水の他、「上流域」及び「山地」からの洪水の大半をを代団地付近の水門(2箇所)で分派させ、を霞堤内の水路から千曲川本川へ排水している。



若宮用水 (霞堤内)



若宮用水 (霞堤外の下流域へ)



分派地点



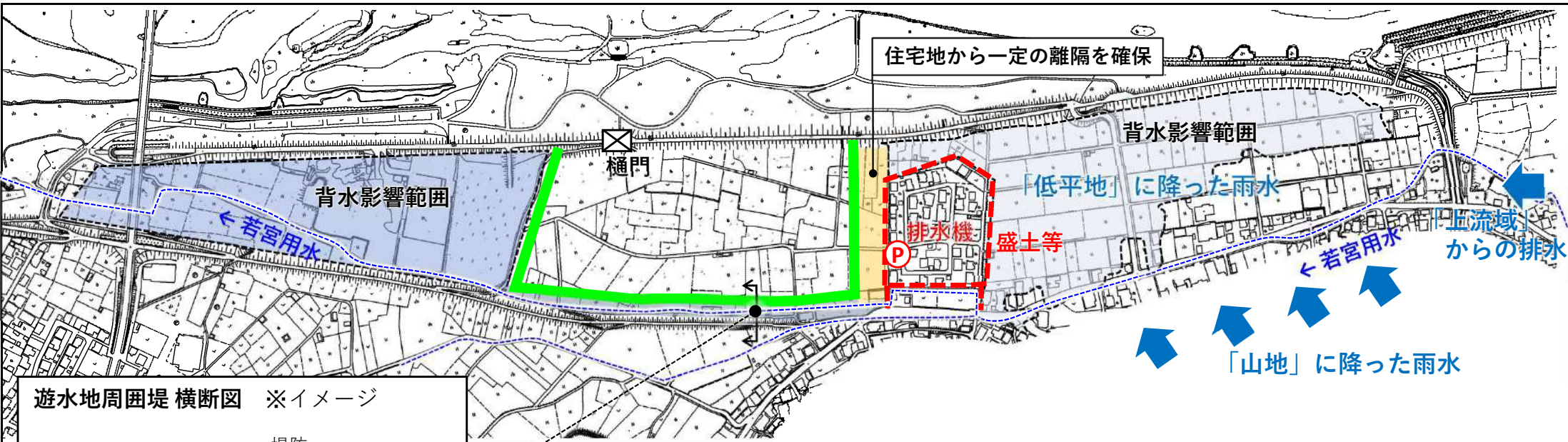
分派地点



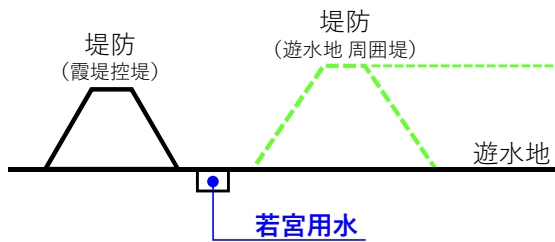
若宮用水 (支川雄沢川をアンダーパス)

## 平和橋遊水地 住宅地への浸水対策（実施方針）

- 霞堤控堤と遊水地周囲堤の間に離隔を確保し、本川と支川（若宮用水）の連続性を確保したまま、遊水地を整備。（霞堤として有していた内水排除の機能を維持。）
- 千曲市と連携し、住宅地への浸水を解消するため、住宅地の周りに盛土・壁立てを行う。



遊水地周囲堤 横断面図 ※イメージ



- ・ 住宅地（代団地）への千曲川からの背水による影響を解消。
- ・ ポンプ規模を小さく設定できる。（排水対象は「代団地」のみ。）

## 4. 令和4年度の予定

# 平和橋遊水地 令和4年度の予定

- 平和橋遊水地は、遊水地上流側の内水対策について、千曲市と連携し詳細検討を進める。
- 内水対策について具体案を示し、地域の皆様にご理解いただいた上で、遊水地事業に着手する。
- 工事着手に向けて詳細設計を進めるため、令和4年度も現地調査を並行して実施。
- 工事の手順は、**1.遊水地下流側**、**2.遊水地上流側**を想定。(詳細は、以下「事業の優先順位」を想定。)

## ■事業の優先順位 (平和橋遊水地)

下記の優先順位をベースに工事を進める予定

### <遊水地整備>

- 排水施設**  
周囲堤より先に整備し、遊水地内の排水系統を確保。
- 周囲堤**  
遊水地としての器を形成。
- 越流堤**  
遊水地としての器が形成された後、既存堤防の一部を切り下げ越流堤とする。
- 遊水地内掘削**  
遊水地の容量を増やすため、遊水地内を掘削。

※ 内水対策は遊水地整備と並行して実施。

## ■令和4年度の予定

内容	項目及び実施時期 (予定)
現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>測量 [R4. 9頃～]</li> <li>地質調査 [R4. 9頃～]</li> <li>幅杭設置測量 [令和4年度内]</li> </ul>

※用地買収は令和5年度以降となる見込み。

